

(公財)横浜記念金沢の文化創生財団
30周年記念公演

和のオーケストラ 金沢素囃子の 魅力

財団創立30周年を記念し、
和のオーケストラと言われる
金沢素囃子を中心とした
多彩な演奏をお届けします。

日程 令和4年9月4日(日)
13:30開場、14:00開演

会場 石川県立音楽堂 邦楽ホール
金沢市昭和町20-1



写真提供：金沢市

洋楽と邦楽による
コラボレーションをお楽しみいただけます。



ヴァイオリン



フルート



ピアノ



囃子

入場無料
全席自由

要入場整理券

入場整理券について詳しくは
裏面をご覧ください

主催 (公財)横浜記念金沢の文化創生財団

安心・安全に公演をお楽しみいただくため、
感染症対策を実施しております

ご来場の皆様へのお願い【新型コロナウイルス感染症対策】

・37.5度以上の熱や咳、のどの痛みなどの症状がある方や全身倦怠感など体調がすぐれない方はご来場をお控えください。
・ご来場の際は、新型コロナウイルス感染症対策にご協力くださいますようお願いいたします。

金沢素囃子

素囃子^{すばやし}とは、主に長唄を伴奏とし、前列に囃子、後列に唄・三味線が並ぶ演奏形式のことをいいます。

金沢で継承された素囃子は「金沢素囃子」と呼ばれ、全国的にも格調高さや優美華麗さが評価されている、和のオーケストラと言われる総合芸術です。

昭和55年に金沢市の無形文化財に登録されています。

公益財団法人 横浜記念金沢の文化創生財団

今も、金沢のまちには城下町の面影が残り、金沢素囃子や加賀宝生といった伝統芸能が市民に親しまれています。

当財団は、金沢の伝統文化の振興に役立てたいという横浜茂雄氏の思いを受け、平成3年9月に横浜茂雄氏と横浜銅業株式会社からの寄附を基に財団法人横浜記念金沢の文化創生財団を設立。平成24年4月1日からは、公益財団法人として金沢市の指定文化財である金沢素囃子を中心に金沢の伝統芸能の継承・育成に努めています。

出演



金沢素囃子保存会

昭和53年に結成。金沢における素囃子は明治後期に確かなものとなり、望月流、堅田流、笛の藤舎流が加賀百万石の伝統文化のひとつとして継承されています。



金沢素囃子子ども塾

「金沢素囃子」の伝統を受け継ぐ人材を育成するため、平成17年度に開講。現在は、第9期生が月2回、2年間のカリキュラムでお稽古を重ねています。



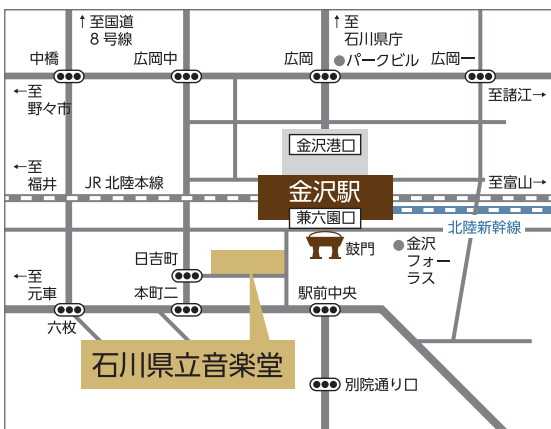
ヴァイオリン
谷口 絵美

フルート
多田 由実子

ピアノ
北林 多香子

囃子
望月 太満衛

洋楽と邦楽によるコラボレーションをお楽しみいただけます。



主催 / 公益財団法人 横浜記念金沢の文化創生財団

問い合わせ先 Tel.076-220-2442
E-mail bunshin@city.kanazawa.lg.jp

入場整理券をご希望の方は

下記の内容をご記入の上、お申し込みください

[記載事項] ・ 応募者の氏名 ・ 郵便番号
・ 住所 ・ 電話番号 ・ 希望人数

[宛先]

金沢市文化政策課内「横浜記念金沢の文化創生財団」事務局

電子申請サービスからお申し込み ▶

右記の二次元バーコードを読み取ると、金沢市電子申請サービスにアクセスでき、申し込みいただけます。

FAX 076-220-2069

はがき 〒920-8577 金沢市広坂1丁目1-1



申込締切 8月26日(金) 消印有効

注意事項 ※定員になり次第締切ります。(先着順) ※未就学児の入場はご遠慮ください。
※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。
※新型コロナウイルスの感染状況などにより、開催内容が変更または中止となる可能性があります。